
Sabotage ! ' タカミ

伊咲 知里

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Sabotage! タカミ

【Nコード】

N2199T

【作者名】

伊咲 知里

【あらすじ】

居酒屋『青春』シリーズ。今回はタカミ視点です。

馬鹿な男たちのどうしようもない話です。

(前書き)

短めです。

いつものように居酒屋『青春』に行くと、既に悪友共が集まっていたので驚いた。

「ヒツキー、シユン君まで居るじゃねーか！ 珍しいことも起こるんだな」

ヒラヒラと手を揺らしながら言っているとシユンが元々ある目力をさらにパワーアップさせた。

「軽く死ぬ」

シユンは綺麗な顔を崩さず、低く、それでいてどこか甘さを含めたその声で暴言を吐くのだから未恐ろしい。

「タカミの場合、軽くっていうか、本当に地獄に堕ちて二度と這い上がってきたくないと思わせるほど、精神に絶大なダメージを負って死んで欲しいよね」

「…ねえ、ソウ君？ それって地獄に堕ちてる時点で既に死んでるよね？ ソウ君？」

ソウの肩に手を置き、身体を揺らしながら言い放つと、手を払われ、さも汚い病原菌に触られたように嫌悪感で顔歪め、肩を払った。

「シネ」

「ちよ、肩触っただけで？ 万死に値するってか？」

「いいから座れよ。サキちゃんが困ってるだろ」

カナメは俺にだけ見える角度で、汚いものを見るように蔑んだ瞳で言いのけ、すぐに店員さんに向けて愛想好い甘いマスクを被った。

「つーか、なんでお前来たの？ 明日の二限、いや、もう今日か。進級試験だろ？ 勉強するから今日は飲まねーって言ってだろ？」

シユンは、目の前に置かれたビールを器用に飲みながら悪態をつく。

「…星に祈ることにしたんだよ」

「馬鹿じゃねえーの。どこに星があるんだよ。全然キマってねえし。ダッセ。タカミダッセ」

「本当、今何時だと思ってんの？ 明け方だよ？ 本当に馬鹿なの？」

シユンの態度に激しく同意するように声を出したソウを睨みつける。

「馬鹿馬鹿いうなよー。本当に馬鹿になるだろ?!」

「もう、完全に手遅れなほど、本当の馬鹿だから安心しなよ」

「うっさいわ！ ところで、シノノメは？ さつきから姿見えないけど」

「なんか、先帰ったけど？」

「ふうーん。ま、いいや。あ、俺ビール」

カナメと店員さんがまだ楽しそうに話していたので、間を割る様にして注文してやる。

「かしこまりました。ビールお一つでよろしいですか？」

可愛らしい声が響き、荒んだこの場も一気に和んでいくのがわかった。

カナメは可愛いお気に入りの店員さんとの和みタイムを邪魔され、俺に敵意をむき出すがいつものことなので気にしない。

「あときゅうりの浅漬け一人前」

「かしこまりました」

そう言うと店員さんは笑顔を絶やすことなく席を離れた。

「…シユンってあれから元カノとかどうなの？」

そんな店員さんに見向きもせず、いまだにメニューの浅漬けから視線を外さないシユンに呆れつつ声をかけると思いつきり眉間に皺を寄せてから一瞥する。

「シネ」

「ちよつと、シユン君？ 俺が死んだら泣いて悲しむくせに、思っ
てないこといつちやだめでしょ？」

戯けて言つとさらに嫌そうな表情を浮かべた。
やれやれ、と頭を振って周りのメンバーの顔を覗くと他の奴らも同じ様な表情を浮かべている。

「おい、お前ら。なんだ、その顔は」

「全員一致でお前に殺意が湧いた顔だよ」

又ケ又ケとソウが言ったので、唯一味方になってくれそうなトーマに顔を向け、助けを求めた。

「…全員一致で、だよ」

近来稀に見ぬ爽やかな笑顔で言いのけた。

「んだよ、やってらんねー」

「まあ、まあ。殺意は湧いたけど、まだ殺そうとはしてないんだから、安心しなよ」

「…カナメが言つと、近い将来本気で誰かが殺しに来そうで怖いわ」

カナメはただ、ふふ、と笑うだけだった。

「…頼むから否定して…」

呟いた本音は周りの客の煩い声に？き消された。

(後書き)

続く…?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2199t/>

Sabotage！'タカミ

2011年5月23日12時30分発行